




事業番号	15 08 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
		実施期間	S24 ～	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】<第3次長野県教育振興基本計画> 「県民が生涯にわたって学び続け、地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に付けられるようにする」 ・市町村公民館における学級・講座数（人口千人あたり）（2022年度）：3.4件 ・県内公共図書館調査相談件数（2022年度）：82,000件 「子どもたちが豊かな自然や地域の文化を効果的に体験できる環境を整備する」 【これまでの取組】 ・生涯学習推進センターにおいて、地域課題への対応や、持続可能な地域づくりを中核的に担う人材の養成を推進 ・県立長野図書館は、市町村図書館や学校図書館等と連携しながら県民の情報拠点としての図書館のあり方を考え、地域に応じた取組の実現を支援してきた ・少年自然の家を様々な体験学習拠点の場として位置付け、指定管理者と連携して特色ある自主事業を実施するなどして、自然を愛する心情を育むとともに、自然の不思議さや素晴らしさを実感できる教育を推進				
	令和2年度点検結果 ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらにすすめる必要がある。 ・県立長野図書館の重要な役割である市町村立図書館のサポートを地域の実情に合わせた形で推進していくために、サービスや収蔵資料のデジタル化及び空間デザインの変革等を図りながら「これからの図書館」のモデルを提案していく。 ・少年自然の家で行う各種体験事業については、多くが新型コロナウイルスの影響で中止、縮小した。感染防止に配慮しながら、自然体験活動の充実に取り組む必要がある。 </td> <td> ・講座検討有識者会議を設置し、外部有識者の知見とつながりを借りて、主催事業の計画、改善、深化を図る。 ・ICTを活用した図書館業務・情報資源のあり方に関する研究と実践（例：信州ナレッジスクエアの活用促進、商用データベースの共同契約調整、全県的な電子図書館サービスネットワークの構築検討等） ・専門的な知見を有する外部機関との連携・協働 ・施設の計画的な修繕、改修の実施、適切な受益者負担を踏まえた新しい料金体系の構築するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を鑑みて、児童生徒の体験学習の一層の推進を図るため、自主事業の内容等の充実を図る。 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらにすすめる必要がある。 ・県立長野図書館の重要な役割である市町村立図書館のサポートを地域の実情に合わせた形で推進していくために、サービスや収蔵資料のデジタル化及び空間デザインの変革等を図りながら「これからの図書館」のモデルを提案していく。 ・少年自然の家で行う各種体験事業については、多くが新型コロナウイルスの影響で中止、縮小した。感染防止に配慮しながら、自然体験活動の充実に取り組む必要がある。
課 題	今後の方向性				
・生涯学習推進センターの目的である「日本一を誇る公民館等のレベルアップ、本県の強みである地域のつながりの維持強化」「地域を担う次世代の育成と、シニア層の参加促進による地域教育力の強化」をさらにすすめる必要がある。 ・県立長野図書館の重要な役割である市町村立図書館のサポートを地域の実情に合わせた形で推進していくために、サービスや収蔵資料のデジタル化及び空間デザインの変革等を図りながら「これからの図書館」のモデルを提案していく。 ・少年自然の家で行う各種体験事業については、多くが新型コロナウイルスの影響で中止、縮小した。感染防止に配慮しながら、自然体験活動の充実に取り組む必要がある。	・講座検討有識者会議を設置し、外部有識者の知見とつながりを借りて、主催事業の計画、改善、深化を図る。 ・ICTを活用した図書館業務・情報資源のあり方に関する研究と実践（例：信州ナレッジスクエアの活用促進、商用データベースの共同契約調整、全県的な電子図書館サービスネットワークの構築検討等） ・専門的な知見を有する外部機関との連携・協働 ・施設の計画的な修繕、改修の実施、適切な受益者負担を踏まえた新しい料金体系の構築するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を鑑みて、児童生徒の体験学習の一層の推進を図るため、自主事業の内容等の充実を図る。				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 生涯学習推進センターの講座を充実 「日本一の公民館活動を支えるセンターへ」という方向で、講座の内容を見直し、体系化して開催	  
	✓ 県立長野図書館のサービス・情報資源のデジタル化推進 提供するサービスや収蔵資料のデジタル化推進を図るとともに、「信州・学び創造ラボ」の「共知・共創」コンセプトをふまえたリテラシープログラム開発も進めながら、県民の知の拠点としての図書館の役割を果たしていく	
	✓ 少年自然の家の体験活動の充実 指定管理者と連携して、教育効果・専門性の高い体験プログラムの開発・普及や自主事業の充実を図る	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度	
事業コスト		前年度繰越	0	0	要求 予算案											
1	生涯学習推進センター指導者養成研修受講者数	2,728人	2,925人	↑	2,222人	↓	2,300人					当初予算	291,698	506,181	381,297	—
2	県立長野図書館県内公共図書館調査相談件数	88,578件	85,011件	↓	集計中(R3.9予定)		90,750件					補正予算	△ 19,512	3,919	—	—
3	少年自然の家における自主事業実施回数	68回	53回	↓	36回	↓	55回					合計(A)	272,186	510,100	381,297	—
4												うち一般財源	233,457	430,971	251,308	—
5												決算額(B)	260,746			
												職員数(人)	25	25		
成果指標設定理由		・生涯学習推進センター：令和2年度の現状を踏まえ、数値を設定 ・県立長野図書館：現状を上回る数値を設定 ・少年自然の家：令和2年度の現状を踏まえ、令和元年度の実績を上回る数値を目標に設定														

事業名	社会教育施設事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	文化財・生涯学習課
-----	-----------	----	----------	-----	-----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	生涯学習推進センター事業費	16,651 千円	12,804 千円	要求 12,964 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	指導者養成等の研修事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔の市町村を考慮した移動講座の実施 ・住民相互の支援を基盤とする県政課題に対応する講座の実施 27講座 地域づくり推進研修 19講座 学校と地域の連携推進研修 1 講座 地域の教育力向上研修 7 講座 ・講座検討有識者会議を開催し、外部有識者の知見とつながりを借りて、主催講座の計画、改善、深化を図る。 【会議開催 2回】
2	施設管理運営事業	直接	・生涯学習推進センターの管理・運営

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	県立長野図書館事業費	168,225 千円	171,865 千円	要求 264,110 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	県立長野図書館事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の知の拠点としての、各種情報資源を活用した情報提供サービス ・改革事業（H27-R1）に続く「進化事業（仮）」の策定・実施 ・「信州・学び創造ラボ」における共知・共創の取組み推進 ・サービス及び情報資源のデジタルシフトを見据えた研究会の開催 ・「図書館フォーラム」の開催による意識改革、市町村と連携した人材育成
2	コンピュータ管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・二次利用可能なコンテンツの充実や、それに伴うリテラシープログラムの展開等をはじめとした信州・知のポータル「信州ナレッジスクエア」（令和2年4月稼働）の運用 ・新信濃美術館アートライブラリーとのシステム統合
3	6階書庫増設工事	直接	書庫6階部分の増設工事（壁面・床張、書架設置、電気配線、消火設備整備、冷房機取付等）

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	青年の家・少年自然の家管理運営費	106,822 千円	321,512 千円	要求 104,223 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	少年自然の家運営事業（指定管理委託料）	指定管理	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が青少年教育施設としての機能を維持・管理し、多様な体験プログラムの利用者への提供に必要な経費の一部を支出 ・指定管理者：望月・信州リゾートサービス(株)、阿南・阿南町
2	少年自然の家指定管理者選定委員会費	直接	令和4年度に更新を迎える少年自然の家の指定管理者選定のための委員会を開催【委員会開催 2回】
3	少年自然の家運営事業（特定建築物設備調査）	委託	少年自然の家について、建築基準法及び屋外広告物条例に基づく定期点検を実施
4	少年自然の家修繕工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・望月少年自然の家：給水設備改修工事、下水処理設備改修工事設計 ・阿南少年自然の家：空調設備改修工事